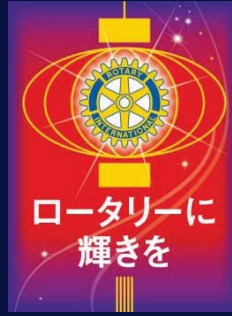


WEEKLY NEWS

2014-2015年度 《11号》

週報 通算 2109回



第2640地区

和歌山東南

ロータリークラブ

本日の例会

9月10日(水)
18:30~華月殿

- ・会長点鐘 ・ローターソング : 花になろう鳥になろう、結婚記念日お祝い
- ・ゲスト・ビジターの紹介 ・お食事 ・出席報告(例会委員長) ・会長挨拶・幹事報告
- ・ニコニコ箱報告(会計) ・委員会・同好会報告 ・行事「辻ガバナー公式訪問」
- ・閉会点鐘

先週例会報告 会場監督 赤在依美

ゲスト:辻 秀和ガバナー、堀本欣吾ガバナー補佐、石倉保彦副代表幹事

会長挨拶

坂口 和男 会長

こんにちは。

辻ガバナー、堀本ガバナー補佐、石倉副代表幹事、お忙しい中、公式訪問ありがとうございます。

今、地区では何かと問題になり大変だと思いますが、どちらにも言い分があると思うので、ガバナーが来られて話し合いを持たれたら如何でしょうか。

辻ガバナー、大きな美しい花を咲かせませんか。

2640地区を一本化して行って下さい。



幹事報告

谷口 拓 幹事

- ①第40回旭子ども祭りが9月14日(日)に開催され、津川青少年奉仕委員長、幹事 谷口2名で参加いたしました。
ご祝儀 10,000円を奉仕会計 青少年奉仕委員会より支出いたしました。
- ②「とらふす祭り」が虎伏学園で8月30日(日)に開催され、坂口会長、吉田直前会長、津川青少年奉仕委員長の3名でご参加いただきました。
ご祝儀 10,000円を奉仕会計 青少年奉仕委員会より支出いたしました。
本日お礼状と領収書が届いておりますので、各テーブルに1部ずつ置いております。皆様、お目通しください。
- ③米山寄付金納入明細書、財団月次寄付金報告書を各テーブルに一部ずつ置いております。皆様お目通しください。
- ④地区より「RI 職業奉仕リーダーシップ賞」への候補者となるロータリアンの推薦書式が届いています。締切は10月15日(水)必着。
- ⑤紀の国和歌山国体・紀の国わかやま大会協力企業に関する契約書を9月8日(月)に締結いたしました。
- ⑥本日例会終了後、定例理事会を開催いたします。役員・理事の皆様、よろしくお願ひ致します。



出席報告

出席者 出席率

会員総数 50名 9/17 33名 68.75%

出席免除会員 4名 9/3 42名 89.36%

ニコニコ	米山奨学金	ローリー-財団	東南育英会	紀南災害 義援BOX
------	-------	---------	-------	---------------

累計	781,058	42,000	122,000	21,000	0
----	---------	--------	---------	--------	---

ニコニコ箱

中岡 隆文 会計

坂口君・辻ガバナー・堀本ガバナー補佐・石倉副代表幹事、訪問ご苦労さま。
谷口君・辻ガバナー・堀本ガバナー補佐・石原副代表幹事、ようこそお越し頂きました。
ご結婚記念日お祝い・中岡君、中曾君。

ロータリー財団

神谷君・主旨に賛同して。

東南育英会

中板君・ちょっと良い事がありました。



「ガバナー公式訪問」 2014-15年度 ガバナー 辻 秀和



本日は、2014 - 2015 年度地区ガバナー公式訪問でございます。
先立ちまして、会長 坂口 和男様、副幹事 溝落 和作様、ガバナー補佐の堀本 欣吾様、石倉保彦地区副代表幹事もご同席の上、会長・幹事懇談会を、なごやかに、かつ有意義に終えました。

今回、和歌山東南ロータリークラブ様を、公式訪問させていただき、このように歓迎をしていただき、大変な名誉でございます。衷心より感謝申し上げます。

クラブ会長 坂口 和男様、はじめ会員皆様には、地区運営にご理解・ご協力を賜りますよう、心より御願ひ申し上げます。

和歌山東南 RC 様と申せば、1971 年 2 月に和歌山南 RC 様をスポンサークラブとして、創立されました。昼・夜の例会をされておられます。

地域社会への奉仕、職業奉仕、国際奉仕、青少年奉仕にも又、親睦、R-財団、米山記念将学会など、バランスよく、すばらしい活動を展開されておられます。

本年度、坂口会長様は、RI テーマの『ロータリーに輝きを』を元に、クラブ「目標と活動方針」しつかりと、定められて、実践されておられます。

地区組織でも、山本唯二様に R - 財団資金推進委員会委員長として、ご協力を賜っております。創立 40 年以上のクラブとしてさらに、斬新的で、独創性豊かな、活動のご継続を、ご期待申し上げます。

さて、本年度 地区では；

先の 4 月 29 日、R I 直前会長ロン・バートン氏による地区紛糾の裁定を、本年度 R I 会長ゲイリー・ホアン氏も認めておられます。私はそれを尊重し、裁定を踏襲（とうしゅう）いたします。

すなわち、そこには、“第 2640 地区が、相違を乗り越えて前向きな解決策を見出せるよう、地区リーダーと地区ロータリアンが協力することを改めてお願いいたします。”

続いて、それには“まずこれまでの紛糾（ふんきゅう）を過去のものと考え始めて、地区を健全な状態に戻し、ロータリーを實踐し、みんなに豊かな人生を実現するための、真の奉仕に取り込むことが出来るはずです。“と明記されてあります。

それでは今、世界が、日本が、グローバル化し、多様性がすすむ中、当地区内でも、当然、考え方、方法論はいろいろでございますが、目指すところはひとつ、地区内の会員皆様が願っておりますとうり、1 日も早く、本来のロータリーを取り戻したいと考えます。

+本年度は、今までの紛糾（ふんきゅう）を過去のものとして、すべてを白紙に戻します。

+地区ガバナーの承認なき文章 等の配布は、認めません。

+クラブ会長は、怪文書等をしっかりと検閲されて、クラブ会員に配布しないようする。

+その逆に；地区ガバナーからの告示等は、各クラブ会長が全会員にいきわたるよう、ご配慮お願いいたします。

+パストガバナーには、必要な委員会の中で、お役目を御願ひいたします。

+当面は、10 月 25 日、26 日の地区大会準備とそこでの決議で地区賦課金のご承認を得ることに、全力で努力いたします。予算のない地区運営など、成り立ちません。

（地区の存続に関する問題です。皆様のご理解とご協力お願い申し上げます。）

+地区大会は、従来にない手づくりの地区大会をめざして、大会二日目後半は、地元住民も参加頂き、楽しいロータリーデーを同時に開催いたします。（説明）

+大会に先立ち、10月20日は、大会記念チャリティーゴルフ大会も行います。(説明)

皆様のご参加の程、宜しくお願い申し上げます。

+地区大会の準備を進める中、
実はつい先日、こんな話が、ございました。

通常、地区大会では、地区ガバナーは、必須項目ではございませんが、しかるべき大会記念 講演者を予定しておかなければと考え、そこで私も、ノミネー時代に高校の同級生である人物に、記念講演をお願いしていました。彼は秀才で、京大法学部を出て、外交官として、公使、大使など歴任して、日本外交の最先端で、世界中を駆け回りました。高校時代、私は水泳部で、毎日一万メートルを先輩から、練習のノルマとして課せられて泳いでおりました。必然的に、学業は、彼とは比較することすら叶わない、ご想像のとおりでございます。しばしば新聞紙上で、彼の論調が、取り上げられていました。私は、論説を読むたびに、いつか彼の国際感覚を是非とも、新世代の若者に直接地かに、聞かせてあげたいと考えていました。現在、永田町の公益法人フォーリン・プレスセンター(外国の記者の集まるところ)で、理事長を務めていて、大変多忙です。それでも、1年半前から10月26日を空けていてくれました。彼の秘書によると、ずいぶん無理をして、予定して頂いたそうです。しかし、今年度、当地区大会を手作りの大会として、講演者を外部から呼ばない方針を、立てましたが、彼の記念講演をお断りしなければならぬと思いつつも、私は、わずかの可能性を追及しつつ、今まで残しておりました。日が迫り、東京の彼からついに、電話が入りました。てっきり、お叱りの電話かと思ひ、覚悟を決めましたが、しかしさすが世界中を飛びまわり、国際感覚豊かな彼は、とても懐の深い、しかも温かい理解を、すぐに、していただきました。彼は、私のすこしの説明で、分かってあげようと、していただいたのです。(地区賦課金が未だ承認されていないなど説明しました。)その人の体験が、人柄や人格を作り上げるのだと、あらためて、認識をし、感心いたしました。さて彼はなんと云ったのか、想像できますか? 何の不服も言わずに、「わかった、それじゃ! 辻さん、延期しよう!!」
「出来る状況になれば、僕は喜んで、東京から講演に行くよ!!」この地区大会など、延期できるはずがない。自身の講演を、今回は、中止しようと言わなかった。この「延期しよう!!」という言葉、相手を傷つけない、自分も傷つかない、深い意味のある言葉です。役職が、人を作るのだと、あらためて悟らされました。状況が好転すれば、是非とも、新世代の為に、彼の講演を企画したいと考えます。

次に私の経歴の中で;

先日公式訪問いたしました、堺泉が丘 RC の会長南川正一様は、実は私の大学の先輩でございます。関西のロータリーでは、本当に数少ない卒業生です。当地区内でも、2~3名程度と思われまふ。余談ですが、東京農大の当時の校風は、自由奔放で、バンカラで、開拓魂豊かな精神が残っておりました。その校風で私も、在学中は何度も海外へ奉仕に飛び出し、ついに卒業後は、JICA の青年海外協力隊で、マレーシア国に、まるまる三ヵ年、飛びました。協力隊員が、世界の僻地で、本当に田舎の集落に入り込んで、農業や衛生の指導をする、つまり 草の根外交の先陣を切っているが、先の外交官の彼とは、異にする立場が、JICA、青年海外協力隊でございます。確かに、私が、その国の、その地域に、一人行ったわけでありまふが、しかし、その JICA の事業や、派遣する人を、支える人、又 派遣要請して、協力隊員を 迎え入れる国の人々、双方で数え切れないほどの人々に、支えられてこそ、素晴らしい成果が得ることが出来て、本当に何事にも変えがたい、貴重な、体験が、出来たわけでありまふ。

まさに; お陰さまで、とても言葉では言い尽くせないほどに、一人海外で、青年期に、貴重な体験を、積む事が出来まふ。

帰国して、それならば; 自身は何を成すべきかが、おのずとわかるはずであります。

+自分が変われば、地域社会が変わる、世界が変わる。

+自分の体験は、新世代へと、確実に伝えねばならない。

この二点でございます。

世界が、日本社会が、グローバル化しつつ、多くの問題を未解決のままに、大きく転換しようとしています。そこでロータリーは 今、何が出来るのか。それは、計り知れない可能性に満ちた「新世代の若者達」に、幸多かれとエールを、ただ送るのではなくて、ロータリアンは、新世代の若者達と共に、汗を流し、活動できる機会を、積極的にふやしていただき、ロータリーを、ロータリーファミリーと共に、みんなで楽しんでいただきたいと思います。

ロータリーの国際交流活動が世界理解につながります。

ロータリーの地域社会での奉仕活動も世界理解につながると考えられます。

なぜならば: それはロータリーは、世界 201 カ国に、(34, 282 クラブ) 約 120 万人の会員を有する、グローバルな国際的組織だからであります。

ロータリーの活動はすべて『世界平和』につながります。海外で活動をする、国内で活動する、いずれにしても、人と人との交流は、常にそこに、お互いの相違はあるものです。

相手を思いやる心、おもてなしの心、が肝心です。今このような、心が一番大切だということが忘れられて、当地区では、なかなか本来のロータリー活動に、戻れない大きな原因のひとつだと考えられます。一番必要なことは、この部分の、相互理解のような気がいたします。

私も、ロータリー入会以来、クラブ活動、地区活動を通じて、海外の青少年や姉妹クラブにおける国際交流活動で、又地域での奉仕活動で、東日本大震災での被災地支援活動で、いずれにおいても、ロータリアンの仲間、ロータリーファミリーや一般の人々と共に、長年にわたり言葉では言い尽くせない、心温まるご支援やご協力を賜りました。

共に活動した皆様のお陰さまで；

米国インディアナ州ハミルトン郡。すなわち、インディアナポリス郊外の町カーメル市。カーメル市は、人口 20 万以下の都市の中で、全米で住みたい町 No. 1 の町です。私は、そこでの奉仕活動が認められ、仲間を代表しまして、カーメル市の『名誉市民』の称号を賜りました。大変、名誉なことと、感謝いたしております。

日本の「思いやる心」や「おもてなし文化」の一つ象徴であります。さらに本年度、RI2640 地区關しましても、ほとんど無条件にて、多くのクラブメンバーの方々には、地区運営の要として、ご協力賜っております。全てに、感謝!! 感謝!! でございます。

皆様の絶大なるご協力を、引き続きお願い申し上げます。

This is Rotary !! This is Rotary !!

このあと、ガバナーの責務でございます。経歴と国際協議会のご報告をさせていただきます。

「第 40 回旭子どもまつり」 9 月 14 日(日) 和歌山市旭学園 園庭 参加者：谷口幹事 津川青少年奉仕委員長

